

事業計画書

1 事業名称 新年会（1月例会）

担当委員会：総務委員会

委員長：大野 晶子

事業番号：他1 事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

三沢青年会議所55周年の節目から、新たな年を迎え、新体制への移行を2019年度の基本計画とともに対外的に発信する場を設け、関係諸団体の信頼関係と協力体制を強固なものとし、ご来賓並びに来訪JC、シニアクラブ会員と、親睦を深め、さらなる信頼をいただき会員の意識を高揚する機会が必要です。

目的

対外：2019年度三沢青年会議所の1年の方向性を示し、活動内容の大略と実働するメンバーを紹介し、運動に対し御理解頂き、ご来賓並びに来訪JC、シニアクラブ会員、関係諸団体との協力体制を構築することを目的とする。

対内：理事長の掲げる基本計画のもと、新たな目標を掲げ、メンバー間での意識共有を図り、活動意欲の向上と意識高揚を目的とする。

3 事業概要

実施期間	1月24日（木）	事業予算額	¥194,681
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

■会員 19名 ■シニアクラブ会員 123名 ■来賓 77名

■来訪JC 50名

事業内容

■例会セレモニー
17:00-18:00
■2018年度理事会会議・2019年度第1回理事者会議
■新年会 18:30-20:30
・オープニングムービー
・理事長挨拶・来賓紹介・来賓祝辞・鏡開き・乾杯
・全メンバーにてご来賓・シニアクラブ会員・来訪JCの接待
・2019年度役員候補者紹介
補足) 2019年度1月31日の第一回通常総会にて役員を選定
2019年1月31日（予定）の第一回理事会にて理事長
副理事長、専務理事を選定

事業計画書

1 事業名称 第1回通常総会

担当委員会：総務委員会

委員長：大野 晶子

事業番号：他1 事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

公益社団法人三沢青年会議所定款・諸規定の定款第3章に基づき運営する必要があります。

目的

対外：なし

対内：定款諸規定に従い、正会員に2017年度の事業報告並びに収支決算書等を承認頂くことを目的とします。

3 事業概要

実施期間	1月31日（火）	事業予算額	¥0
実施場所	三沢青年会議所 事務局		

参加員数計画

■会員 19名

事業内容

■第1回通常総会
18:00~19:30
・2018年度監査報告
・第1号議案 2018年度事業報告書承認の件
・第2号議案 2018年度収支決算書承認の件
・第3号議案 その他

事業計画書

1 事業名称 公選理事候補者選挙（7月例会）

担当委員会：総務委員会

委員長：大野 晶子

事業番号：他1

事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

益社団法人三沢青年会議所定款・諸規定の役員選任規定第5章により公選理事候補者選挙を開催する必要があります。

目的

対外：なし

対内：役員選任規定を遵守し公選理事候補者選挙にて理事候補者を選出することを目的とします。

3 事業概要

実施期間	7月	事業予算額	¥0
実施場所	三沢青年会議所事務局		

参加員数計画

■会員 18名

事業内容

- 例会セレモニー
18:00
- 公選理事候補者に関する期日及び公示
公選理事候補者は、6月理事会後4日間、三沢青年会議所事務局内に公示し、正会員の閲覧に供する。
- 次年度公選理事候補者選挙
 - ・投票立会人は、選挙管理委員会が行う。
 - ・メンバーを4名ずつ投票所へと誘導し、立会人より公選理事候補者投票用紙を受取り記入後、投票箱に投函する。

事業計画書

1 事業名称 第1回臨時総会（9月例会）

担当委員会：総務委員会

委員長：大野 晶子

事業番号：他1

事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

本臨時総会において、公益社団法人三沢青年会議所役員選任規程 第7章 第26条に基づき、次年度理事長、監事、公選理事候補者について選任を得る必要があります。また、必要に応じて、同規程 第8章 第27条に基づき、補充選出された役員候補者についても選任を得る必要があります。

目的

対外：役員選任規程に基づき選任された2020年度理事長・役員予定者等を報告することを目的とします。

対内：役員選任規程を順守し、2020年度理事長・役員候補者を選任していただくことを目的とします。

3 事業概要

実施期間	9月	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

■会員 18名 ■シニアクラブ会員 123名

事業内容

- 例会セレモニー
18:00
- 第1回臨時総会
 - ・第1号議案：理事長候補選出の件
 - ・第2号議案：監事候補選出の件
 - ・第3号議案：公選理事候補者選任の件
 - ・第4号議案：補充理事候補者選任の件
 - ・第5号議案：その他
- 懇親会
19:30

事業計画書

1 事業名称 卒業式・忘年会・LOM褒賞授与式（12月例会）

担当委員会：総務委員会

委員長：大野 晶子

事業番号：他1

事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

本年度、「PRIDE 誇れる仲間、誇れる地域を」のスローガンのもと、三沢青年会議所が展開してきた運動の軌跡を振り返るとともに、これから新たな一歩を踏み出す卒業生の想いを紡ぎ、2020年度新体制が強固な組織運営のもとスタートを切れるよう、卒業式、望年会並びにLOM褒賞授与式を開催致します。

目的

対外：三沢青年会議所が展開してきた運動の軌跡や卒業生のご功績を振り返り、当青年会議所へさらなるご理解とご協力を頂くことを目的とします。

対内：

【卒業式】卒業生より会議所運動の中で学んだ事や現役会員に激励のメッセージを伝えて頂くことで今後の青年会議所運動の励みになることを目的といたします。

【忘年会】会員一人ひとりが一年間を振り返りそれぞれの労をねぎらい、また新たな目標を持って次年度を迎えるための懇親の場となることを目的といたします。

【ロム褒賞】一年間の委員会事業、会員の運動を表彰し功績を讃え次年度の会員の意識向上へ繋がる事を目的と致します。

3 事業概要

実施期間	12月	事業予算額	¥110,594
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

■会員 19名 ■シニアクラブ会員 123名 ■来訪JC 40名

■卒業生 3名 ■卒業生家族 6名

事業内容

■例会セレモニー

17:30

■卒業式

・卒業予定者：新堂友和、佐藤あきこ、佐々木貴仁

■忘年会

■ロム褒賞

・最優秀委員会賞、最優秀会員賞、最優秀新人会員賞の発表と表彰

事業計画書

1 事業名称 第39回三沢国際サマーフェスティバル事業（8月例会）

担当委員会：青少年委員会 委員長：附田 暁

事業番号：公2 事業内容：社会開発事業

2 事業要項

事業背景

三沢市には米軍基地が存在し、継続的かつ友好的な交流により、国際色豊かなまちとして発展してきた歴史があります。神輿運行が行われる中心市街地は都市開発によりスカイプラザを中心としたアメリカ村へと変貌を遂げました。一方で少子高齢化、首都圏への人口流出による人口減少などの課題を抱え、町内会の参加が減り、山車も減少にあるのが現状です。地元愛の象徴でもある三沢まつりへ参加することで、希薄になりつつある地域の繋がりを取り戻していかねばなりません。

目的

対外：年齢や国籍を問わず多くの市民に参加して頂くことで、歴史ある文化を守り、地域の繋がりを深め、街づくりの活力へ繋がる市民意識を醸成することを目的とする。

対内：市民と行政との横断的な連携を図り、地域に必要とされるJAYCEEとして修練をする中で積極的に地域活動に寄与し、JC運動に対する意識向上を目的とする。

3 事業概要

実施期間	8月22日（木）～8月27日（火）	事業予算額	¥318,200
実施場所	アーケード商店街（広瀬G.S前）～基地ゲート前、及びアメリカ広場		

参加員数計画

■会員 19名 ■一般参加者 498名 ■ステージ参加者 20名

事業内容

- 8月22日（木）
ステージ設営、テント・テーブル搬入、全体会議
- 8月24日（土）
会場設営、ステージイベント運営、会場片付け
- 8月25日（日） 主催事業
セレモニー（商工会館）、会場設営、参加団体配置、事業開始、
会場片付け
- 8月26日（月）
会場設営、ステージイベント運営、会場撤収
- 8月27日（火）
ステージ撤去、テント等返却

事業計画書

1 事業名称 8月例会における収益事業

担当委員会：青少年委員会 委員長：附田 暁

事業番号：収1 事業内容：収益事業

2 事業要項

事業背景

開催当初の中日だけの三沢国際サマーフェスティバル運営から、アメリカ広場での開催に伴い、三沢まつり3日間の会場運営に変化し、支出が増加しました。それらの負担軽減のため、販売活動などの収益事業をしていかなければならない。また昨年は三沢市施工60周年に合わせディズニーパレードがあり来場者が伸びましたが、年々来場者数が減少傾向の三沢祭りを盛り上げる意味でも大きな役割を持ちます。

目的

対外：三沢国際サマーフェスティバルならびにアメリカ広場特設会場の賑わいの創出に寄与する。

対内：三沢国際サマーフェスティバル（公益事業）の運営費を捻出する。

3 事業概要

実施期間	8月23日（金）～8月25日（日）	事業予算額	¥285,000
実施場所	アメリカ広場特設販売ブース		

参加員数計画

■会員 19名

事業内容

- ① アメリカ広場特設会場にて、ドリンクブース（JC）を設ける。※酒類、ソフトドリンク販売
・ドリンク類については、相見積を行い、仕入れ先を決定する。
- ② 来場して頂けるお客様に楽しんでいただける仕掛けを作り一人当たりの滞在時間を長くする。
 - 8月23日（金）
08：00～夜間警備引継ぎ・テーブルイス配置・ゴミ箱準備
11：00～21：00 ブース運営
21：00～広場片づけ
 - 8月24日（土）
08：00～夜間警備引継ぎ、テーブルイス配置・ゴミ箱準備
11：00～21：00 ブース運営
16：00～21：00 ブース運営をシニアに協力依頼
21：00～片づけ、広場・道路清掃
 - 8月25日（日）
08：00～夜間警備引継ぎ・テーブルイス配置・ゴミ箱準備
11：00～21：00 ブース運営
21：00～広場全撤収片づけ
*ブース内の環境整備、整理整頓を行い、備品の置き場所や販売用備品の整理整頓、喫煙のルールを定め実施、及び撤収計画を用意する。

事業計画書

1 事業名称 ものづくり魅力体験プロジェクト（10月例会）

担当委員会：青少年委員会

委員長：附田 暁

事業番号：公1

事業内容：青少年育成事業

2 事業要項

事業背景

三沢市では2019年まち・ひと・しごと創生総合戦略から3年目を迎えるなか、子供たちの地元愛は高い水準です。しかし、社会へ出ると地域での定着率は低く県外や地元に戻らないのが現状です。児童のころから社会と接することで地元愛と社会へ出るときに再度地域愛を認識するために地域を誇れる青少年の育成事業が必要です。

目的

対外：地域で活躍する技能者から地域で長年継続する技巧的な物づくり文化のすばらしさを感じて頂き、作る楽しさ、完成した喜びを学び地域愛の醸成を目的とします。

対内：地域で活躍するプロフェッショナルな方と接し、我々もさらに社業やJC運動においても質の向上を高める事を目的とします。

3 事業概要

実施期間	10月	事業予算額	¥1,000
実施場所	市内小学校		

参加員数計画

■会員 19名 ■三沢市内小学校2校（市内児童数2,201名）

事業内容

複数の職種の中から生徒自身が興味のある職種を選びます。5職種程度を予定しています。1職種10名から20名程度を予定しています。

（人気な職種に偏る傾向があるため予め学校側に依頼し人数調整をしてもらいます。）

講師は、

堀内造園様 ミニ門松作り

三沢建築組合様 県産材を使用した筆箱作り

和文化あおもり様 きもの地で作る巾着袋作り

などになります。（あと2～3名程度の講師派遣を要請しています）

10月事業説明例会を予定

日時 10月初旬 予定

場所 三沢青年会議所 会議室

内容 事業の説明と、開催に際しメンバーの参加要請

実施後、児童及び学校に事業後アンケート調査を実施します。

児童に対しては技能体験を通して学べたことや地域夢についてのアンケート調査を実施します。

※児童からの地域で活躍する夢がある・夢ができたが80%以上になる様、目指し取り組みます。

学校に対しては、事業の運営面や今後の継続、満足度調査を実施します。

※次年度以降の青少年育成事業の参考にします。

事業計画書

1 事業名称 第21回三沢・沖縄児童交歓事業（迎え入れ）（2月例会）

担当委員会：全体事業担当室

担当室長：木村 博幸

事業番号：公1

事業内容：青少年育成事業

2 事業要項

事業背景

1971年に同じ米軍基地を抱えるという関係で姉妹締結をした、三沢・沖縄両青年会議所は、1978年に「国内でも気候、風土、生活環境の著しく異なる地域である、三沢市の児童と沖縄市の児童が、互いに見聞を深め、友好を結び、健やかに育ち行くための糧になること」を目的として、児童交歓事業調印式が行われてから、本年で第21回目を迎えます。42年という長い月日をつないできた本継続事業を諸先輩方の児童への想いと共に継承し、地域の枠を超えた友情と多くの経験を次代の子供たちのため学びの事業として提供していかなければなりません。

目的

対外：三沢と沖縄の児童が友情を育み、本事業を通じて人に感謝する心を学ぶことを目的とします。

対内：青少年育成運動に対する意識向上に繋げることを目的とします。

3 事業概要

実施期間	2月14日～2月18日（案）	事業予算額	¥750,000
実施場所	三沢市近隣		

参加員数計画

■会員 19名 ■沖縄青年会議所会員 10名

■三沢児童 8名 ■沖縄児童 8名

事業内容

■例会セレモニー
平成31年 2月13日（水）18:00-19:00
■オリエンテーション
第1回 1月16日（水） 18時00分～
第2回 1月23日（水） 18時00分～
第3回 1月30日（水） 18時00分～
第4回 2月 6日（水） 18時00分～
第5回 2月13日（水） 18時00分～
■第21回三沢・沖縄児童交歓事業（迎え入れ）2月14日～2月18日
1日目：歓迎会、ホームステイ
2日目：スノーシュー体験、十和田湖冬物語散策
3日目：わかさぎ釣り体験、料理教室、ホームステイ
4日目：自由行動（各家庭に一任）、送別会、ホームステイ
5日目：意見発表会、帰路、到着式

事業計画書

1 事業名称 第28回シーサーオープンチャリティゴルフトーナメント事業（5月例会）

担当委員会：全体事業担当室

担当室長：木村 博幸

事業番号：収1

事業内容：収益事業

2 事業要項

事業背景

（公社）三沢青年会議所と（一社）沖縄青年会議所が共同し、41年間という長きに亘り継続して来た三沢・沖縄児童交歓事業において、参加児童の家庭から徴収する旅費は家庭の大きな負担でもあります。これまで参加児童の家庭負担問題を軽減すべくチャリティー事業を行っており、皆様から児童交歓事業の趣旨に賛同して頂きながら収益事業を継続し実施する必要があります。

目的

対外：三沢・沖縄児童交歓事業の趣旨に賛同を頂くことを目的とする。

対内：児童交歓事業のチャリティーの趣旨に賛同して頂くとともに、それに伴う基金の造成を目的とする。また、会員一人ひとりがおもてなしの精神で接することでJAYCEEとしての資質向上を目的とする。

3 事業概要

実施期間	5月26日（案）	事業予算額	¥1,080,600
実施場所	米軍三沢基地内ゴッサーマモリアルG. C		

参加員数計画

■会員 19名 ■市民・シニアクラブ・各地青年会議所会員 144名

事業内容

■例会セレモニー
2019年5月25日（土）19:30～20:00
■シーサーオープン事業
7:30～12:30
第28回シーサーオープンチャリティゴルフトーナメント
・チャリティーゴルフトーナメント
開催場所：米軍三沢基地内ゴルフ場「ゴッサーマモリアルG. C」
参加組数： 36組 144名
スタート：7:30 ショットガンスタート（一斉スタート）
・チャリティーホール（10番ホール）において児童交歓事業についてのアピールを実施する。
・チャリティーホール（10番ホール）にてチャリティーイベント（募金）を実施する。

事業計画書

1 事業名称 会員オリエンテーション

担当委員会：JC研修室兼IT広報拡大委員会 委員長：河内 啓樹

事業番号：他1 事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

これまで、人と人とのつながり、人と地域の結びつきによって青年会議所運動は育まれてきました。三沢青年会議所の会員数が19名となり会員数は著しい減少傾向にあり、さらには、入会3年未満の会員が30%を越える環境にあり推進力の低下が危惧されています。明るい豊かな社会の実現を目指す中で地域を牽引するリーダーとして成長し、地域開発と資質向上の両輪で運動を推進させなければなりません。我々は、会員の資質向上とLOMの組織力強化からJAYCEEの質をより一層高め、強靱な組織の構築、的確な情報発信からこの地域における存在価値を向上させる必要があります。

目的

対外：なし

対内：入会後の新入会員に対し、JC運動やJC活動についての指導を行い、またLOMの事業への理解を深めてもらう事を目的とする。

3 事業概要

実施期間	新入会員配属後2カ月以内に各委員会で実施	事業予算額	¥20,972
実施場所	三沢青年会議所事務局		

参加員数計画

■会員 19名

事業内容

1. 日本青年会議所が発行するNEW JAYCEEを用いて、新入会員に対し適切な指導を行います。

所要時間：1時間程度

2. LOMの年間事業計画を説明し、LOMの事業に対しての情報共有する場を提供します。

所要時間：30分程度

【手法】

新入会員指導マニュアルを作成し、配属担当委員長へ当委員会が指導を行う。

配属後、各委員長が新入会員に対して指導を行い、進捗管理を当委員会で管理する。

【指導者】

- ・配属担当委員長
- ・新堂 友和
- ・河内 啓樹

事業計画書

1 事業名称 いまさら聞けない経営勉強会～初級編～（4月例会）

担当委員会：JC研修室兼IT広報拡大委員会 委員長：河内 啓樹

事業番号：他1 事業内容：社会開発事業

2 事業要項

事業背景

これまで、人と人とのつながり、人と地域の結びつきによって青年会議所運動は育まれてきました。三沢青年会議所の会員数が19名となり会員数は著しい減少傾向にあり、さらには、入会3年未満の会員が30%を越える環境にあり推進力の低下が危惧されています。明るい豊かな社会の実現を目指す中で地域を牽引するリーダーとして成長し、地域開発と資質向上の両輪で運動を推進させなければなりません。我々は、会員の資質向上とLOMの組織力強化からJAYCEEの質をより一層高め、強靱な組織の構築、的確な情報発信からこの地域における存在価値を向上させる必要があります。

目的

対外：経営分析と異業種の経営事例から明日からの経営に有効に活用できる学びを得られる機会とすることを目的とする。

対内：我々会員は、JAYCEEとして地域を担う青年経済人として、仕事とJC運動の両輪で活動しているが、会員一人ひとりのJC活動に於いては仕事に有効に活用できる情報が必要不可欠であるため、JCならではの異業種の経営事例から会員への学びを得られる機会とすることを目的とする。

事業概要

実施期間	4月5日（金）	事業予算額	¥6,986
実施場所	三沢青年会議所事務局		

参加員数計画

■会員 19名 ■一般参加者 18名

事業内容

会員企業が今後どのように成長していくべきなのか、会社としての目指す方向性を導くための参加費無料のセミナーを開催します。

セミナーの内容 司会：河内 啓樹

18:00～ 開会宣言

18:02～ 理事長挨拶

18:05～ 趣旨説明（河内 啓樹）

18:10～ セミナー実施

【一部】講話 決算書の読み方と経営分析について（60分）

講師：濱田廣司税理士事務所 濱田 繁男氏

19:10～19:20 休憩

19:20～

【二部】パネルディスカッション 経営と投資、そしてJCについて（60分）

パネラー：濱田廣司税理士事務所 濱田 繁男氏、中村 貴大氏、新堂 友和氏

コーディネーター：河内 啓樹

20:20～ 謝辞（新堂 友和）

20:25～ 閉会宣言

事業計画書

1 事業名称 三十路式inMISAWA（8月例会）

担当委員会：JC研修室兼IT広報拡大委員会 委員長：河内 啓樹

事業番号：公2 事業内容：社会開発事業

2 事業要項

事業背景

現在、青年世代の首都圏への人口流出が加速し、地域経済に対しての課題解決に向けた方策を打ち出す必要があります。この地域で生まれ育ち、各地で活躍する青年たちが、この地域の文化、企業、仲間などに触れ合う機会を創出することで、この地域への地域愛を醸成し、若者たちが挑戦できるまち「HOMETOWN MISAWA」の創造につなげる必要があります。

目的

対外：三沢市出身者の30歳の人が集まり、地域社会のつながりの強化を狙うための企画となります。生き方を振り返る機会を与えられる事業を行い、Uターン促進に繋げながら地域活性化を目指します。今後三沢市内だけではなく、青森県内でも、人口減少による「働き手の減少」「社会保障費の負担増」さらなる少子高齢化と、深刻な影響が予想されます。そんな状況を打開する方法として、「三十路式」という新たな文化の創造することにより、「人を繋げ、人が育つ環境」を作ることを企画の目的としております。

対内：三沢青年会議所会員として、地域に誇れる大きな事業を行うことにより、メンバーと親睦を深め、青年会議所活動に対して絆を深めて今後活かせることを目的とします。

3 事業概要

実施期間	8月中旬	事業予算額	¥3,920,808
実施場所	三沢ビードルビーチ		

参加員数計画

■会員 19名 ■参加者 200名

事業内容

■イベント実施概要

名称：三十路式 in MISAWA

会場：三沢ビードルビーチ

日程：2019年8月中旬予定

時間：17時30分受付 18時～21時

内容：ステージイベント、キャンプファイヤー、祝辞、企業紹介等

対象：1989年に三沢市で生まれた成人男女

入場：参加費5,000円（家族同伴の場合は大人5,000円、中学生まで無料）

主催：公益社団法人 三沢青年会議所

事業計画書

1 事業名称 市長懇談会（3月例会）

担当委員会：三役

担当：佐々木 貴仁

事業番号：他1 事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

公益社団法人三沢青年会議所は地域に根付いた運動を日々展開しております。今後も行政や地域の団体とともに地域の明るい豊かな社会の実現へ向け運動を展開して行かなくてはなりません。

目的

対外：我々の運動に理解を深めていただくよう、市長への報告に於いて、今後の展望などの方向性を共有し、相互間の協力体制や連携を強化することで、活動に反映できるようにすることを目的とします。

対内：三沢青年会議所の事業紹介を通じて一年間の事業を再確認するとともに、行政との意思疎通を深めることを目的とします。

3 事業概要

実施期間	3月20日（案）	事業予算額	¥17,250
実施場所	三沢市国際交流教育センター		

参加員数計画

- 会員 19名
- 三沢市長及び秘書 2名

事業内容

■セレモニー 17:30～18:00
■活動報告会 18:15～19:10
18:15～18:25 理事長挨拶（青年会議所の説明も含めて）
18:25～18:35 市長挨拶
18:35～18:45 メンバー自己紹介
18:45～19:00 2018年活動報告
【説明者】直前理事長 新堂友和
19:00～19:10 第21回三沢・沖繩児童交歓（迎え入れ）事業報告
【説明者】全体事業担当室長 木村博幸
19:10～19:20 2019年度IT広報拡大委員会事業説明
【説明者】IT広報拡大委員会委員長 河内啓樹
三十路式の概要説明の実施。
19:20～19:30 2019年度青少年委員会事業説明
【説明者】青少年委員会委員長 附田暁
単独事業の概要説明の実施。
※各事業報告並びに事業説明については、パワーポイントを投影してプレゼン形式で実施する。
19:30～ 花束贈呈及び集合写真
19:40 終了予定

事業計画書

1 事業名称 三沢市長選における公開討論会

担当委員会：三役

担当：佐々木 貴仁

事業番号：公2 事業内容：社会開発事業

2 事業要項

事業背景

近年、政治への関心の薄れから、各種選挙の投票率は低下傾向にあります。しかしながら、本来、選挙における投票行動によって地域の未来を選択するのは、我々市民一人ひとりの権利であり責務であります。だからこそ、より多くの市民に対し、一人ひとりが有権者であることを再認識していただくためにも、政策本位による政治選択ができる機会を、我々JCの存在意義にかけて創出する必要があると考えます

目的

対外：公開討論会を通じて政策本位の政治選択をし、このまちの未来を自らの手で選択するという主権者意識を向上させることを目的とする。

対内：公開討論会を通じて、多くの市民に政策本位による政治選択の機会を提供し、メンバーがこれらの重要性を認識した上で、この運動に対する意識を向上させることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	5月19日（日）（案）	事業予算額	¥292,196
実施場所	三沢市公会堂大ホール		

参加員数計画

- 会員 19名
- 立候補者 2名
- コーディネーター 1名
- 三沢市民 1120名

事業内容

・市民が自ら責任をもって政策本位による政治選択をするための参考情報を得る機会として、公開討論会を開催します。JCとしては、公平中立という立場を貫徹し、来場者が立候補予定者の発言や政策を見極めて判断できるように実施します。
① 立候補予定者 意向確認
② 立候補予定者の情報収集と参加要請
③ 「e-みらせん」の活用（ブロックにて対応）
④ ちらし、ポスター、ホームページ等を活用し、一般市民へ情報発信（必要に応じて、投票率向上にむけた街頭活動を行う）
⑤ 日本JC、青森ブロック並びに他組織との連携
⑥ 候補者への質問原案作成
⑦ マスコミを活用した事業内容の周知及び三沢JCのPR（記者会見等）
⑧ 立候補予定者による公開討論会（コーディネーターが進行）
⑨ 参加者アンケートの実施
※その他、日本JC公開討論マニュアルなどを参考に進行

事業計画書

1 事業名称 金婚式・銀婚式・米寿・還暦を祝う会（11月例会）

担当委員会：三役

委員長：佐々木 貴仁

事業番号：他1 事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

公益社団法人三沢青年会議所は、1963年（昭和38年）11月17日に社団法人十和田青年会議所のスポンサーのもと、第262番目のLOMとして日本青年会議所より承認され誕生いたしました。これまで、56年と長い歴史を築いてこられた先輩諸兄に敬意を表する必要があります。

目的

対外：これまで歴史を繋いでこられた先輩諸兄に敬意を表し、感謝の気持ちとおもてなしの心でお迎えし、シニア会員と現役会員との更なる交流を深めることを目的とします。

対内：これまでの歴史や先輩諸兄が行ってきた事業を振り返り、歴史を学ぶとともに、シニアクラブ会員と密な交流を図ることにより、叱咤激励や運動に対するご協力を頂き、相談役としても関わり合いを持ちながら絆を深めて頂くことを目的とします。

3

事業概要

実施期間	11月15日（金）（案）	事業予算額	¥89,500
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

- 会員 19名 ■シニアクラブ 123名
- 還暦対象者 2名 ■銀婚・金婚式対象者と奥様 12名
- 米寿対象者と奥様 2名

事業内容

- 例会セレモニー
18:00-18:30
- 金婚式・銀婚式・米寿・還暦を祝う会
・対象となる先輩のプロフィール紹介
・対象となる先輩及び家族の方へ、理事長より花束と記念品の贈呈
- 懇親会
・対象となる先輩の紹介
・対象となる先輩から現役当時の写真（パワーポイント）を見て頂きながら、当時の苦労や喜びの体験談等を語って頂く。
・質問時間を設ける

事業計画書

1 事業名称 公益社団法人格及びその他法人格に関する勉強会（6月例会）

担当委員会：財政局

財政局長：北 梨恵

事業番号：他1 事業内容：他の団体との交流、会員相互の親睦及び
会員の拡大を図る事業

2 事業要項

事業背景

公益社団法人格を取得してから8年目を迎え、今後、公益社団法人格を継続するか否かを検討する上で、三沢青年会議所会員がそれぞれの法人格について理解を深める必要があることから、本事業を実施いたします。

目的

対外：なし

対内：公益社団法人格およびその他法人格に関して、組織全体で理解を深めることを目的とします。

3 事業概要

実施期間	6月26日（案）	事業予算額	¥8,196
実施場所	三沢青年会議所事務局		

参加員数計画

- 会員 19名 ■講師 1名

事業内容

本事業実施にあたり、三沢青年会議所は、入会3年未満の会員が多いため、講師には以下の内容で講演を依頼します。

- 講師
公益社団法人青森青年会議所 吉川康久君（予定）
- 講演内容
①公益社団法人格に関する基本事項と継続するための条件について
②その他法人格の特徴について
③公益社団法人格とその他法人格の違いについて
④三沢青年会議所に適した法人格について
⑤公益インフォメーションについて
- 講演時間
1時間程度
- タイムスケジュール
18:00～受付
18:30～セレモニー
19:00～公益社団法人継続に係る講習会の実施並びにその他法人格についての講習会
20:30 終了
- その他
・講習会終了後は、参加者にアンケートを実施し、公益社団法人格およびその他法人格に関する理解度を確認します。